

# 学校法人慈恵大学 カラーユニバーサルデザインポリシー

私たちはいろんな場面で「色」を使ったコミュニケーションを行っています。ところが、色は誰でも同じように見えているわけではありません。生まれた時から色の見え方（色覚）が異なる人だけでなく、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や白内障でも色の見え方が変わることがあります。このため、情報になるべく多くの人に正しく伝わるように、多様な色覚に配慮したデザインを使用することが望まれます。建学の精神に基づき、誰にも優しい環境を整え、正しい情報を提供するために、「学校法人慈恵大学カラーユニバーサルデザインポリシー」を以下のとおり定めます。

## 学校法人慈恵大学カラーユニバーサルデザインポリシー

1. 色の見え方（色覚）に多様性があることを理解する。
2. どのような色覚を持っていても情報が伝わるデザイン（カラーユニバーサルデザイン）とはどのようなものかを理解する。
3. カラーユニバーサルデザインを「教育」「研究」「医療」の現場に積極的に取り入れる。

## カラーユニバーサルデザインの3つのポイント

1. 色を見分けにくい人（場合）にも情報が伝わるようにする。
2. できるだけ多くの人に見分けやすい配色を選ぶ。
3. 色の識別の違いを意識し、印刷物等には色名を記載する。

※ 詳細は学校法人慈恵大学×港区による「カラーユニバーサルデザインのポイント」に解説されています。Microsoft Office をカラーユニバーサルデザイン対応に設定する方法もありますので、ぜひお試しください。

※ 見分けやすさの確認には、無料のアプリ「色のシミュレータ」をお使いください。アプリは下記サイトまたはQRコードからダウンロードできます。

<https://asada.website/cvsimulator/j/>

